

東郷村報

第87号

昭和34年2月15日
発行所
宮崎県東臼杵郡
東郷村役場
日向市富高
安藤印刷所
電話 64番

御挨拶

東郷村 農業協同組合 組合長理事
黒木 松美

私は一月二十五日に執行されました東郷農業協同組合、森林組合及共済組合の理事並監事の選挙の結果、その理事に選任され更に去る二月一日の役員会でこの三団体の組合長に選任された次第であります。

御承知のように、私は現在非才ながらも村長の重責を担がしめられ、私は現在長をはじめ多数の団体の長に就任いたしましたので、この上、更に役職に就任することは、村民の皆さんに、大変迷惑をかけ、ひいては凡ゆる村政の発展を阻害することを憂うのであります。特に農協他二団体の組合長はその団体の重要性或は現況よりして多忙である村長の兼職を以て

しては到底その目的を完遂することの出来ないことは火を見るより明らかな事実でありますので、農協の仕事に専従し得る他に立派な人格者の就任方を熱望し村長としての私の就任については躊躇したのであります。が、この際私が就任をこばむことは益々東郷農協の運営を危機に追い込む結果ともなり得るので一応承諾して、去る二月五日就任した次第であります。

然しながら私は経済に関する識見もなく又体験も全然ないので組合員の皆様の御期待に副うことが難しいかろうと想いますが、とにもかくにも全力を尽して努力致しますので、今後絶大な御協力と御指導をお願いいたします。

この問題を御心配の余り農協に対する信頼を欠き従って熱意ある協力を欠くものが出て来るのではないかと私は憂慮いたしている次第であります。

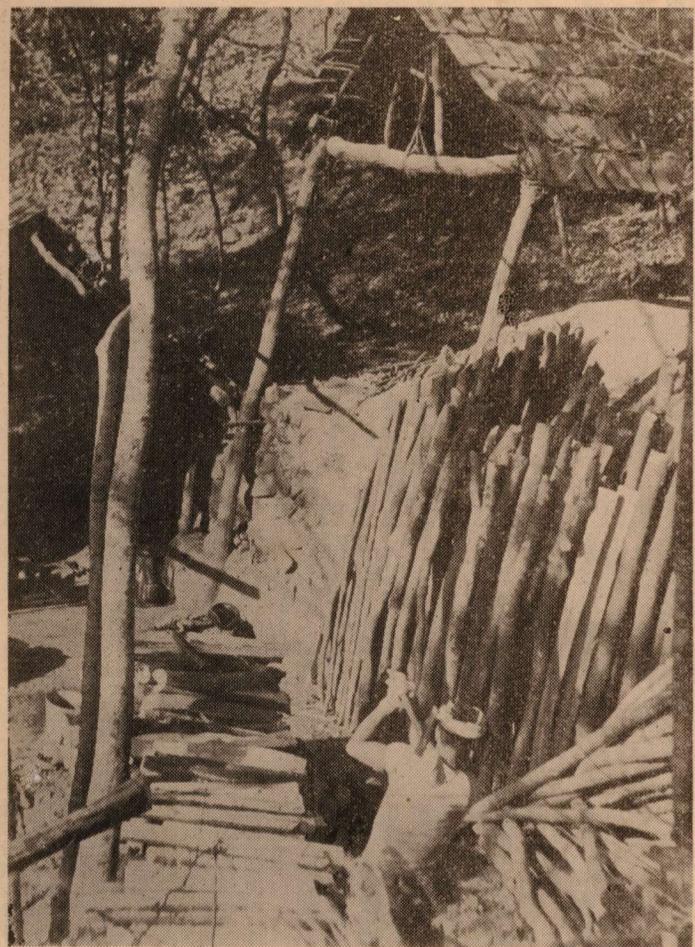
農協に対する色々な不平不満は率直に意見を申し出て下さい。私は組合員の皆様の意見を大いに拝聴し、又組合の内容や現状をよく知り、戴き今後の組合運営の方針をお互い話し合の上で決定したいと思っております。

私は又この際農協の整備充実しに全力を尽して努力せられたにもかかわらず、わが村の離任に当つては従来その例を見ない負担を負わなければならなかつた奈須組組合長を初め旧役員の皆様に対し心からお詫びを申し上げると共に、その態度と御心情についてはこれまた心から敬意と謝意を表するものであります。

私は新旧役員の皆様は勿論、組合員の皆様と共に、この際一切の行きかきりを捨てて、お互を信じ愛村の至誠と熱情で固く団結し組合員一丸となつて農協他二団体の振興に最大の努力を尽し二度と再び今回の如きことの発生を避けることを誓ひ併せて先輩各位並に組合員の皆様の絶大なる御協力を御願い申し上げます。

尚新しい役員に選任された人達については既に御承知とは思いますが次のような方々が就任されましたので御報告申し上げます。

専務理事 藤原 正高
理事 黒木 松美
理事 黒木 功
理事 山崎 基太郎
理事 海野 越義
理事 橋口 和吉
理事 黒木 勝治
理事 鶴田 追内
理事 中野 深
理事 川越 福瀬



春の木立に小斧振ることのかなしさよ
前後不覚に伐りくづしけり (牧水)

し協力は出来ない
この矛盾した考え方で、農協の振興が果して実現出来るでしょうか。
ときがたれば意風も襲来し、農村恐慌もありまじし。日常の生活に於ても不意の災害時に於ても自分を救うものは、あくまで自分を救うもの、協同力であること、忘れてはならないと思ひます。

二月の雨
窓さきの暗くなりたるさきさき、強降雨を見てなまけをりさきさきは春のはじめは年ごとになれのころのさびしきうつつと煙草の酔のかうじ来し窓辺小暗く雨の降るなり

点福
▲旧暦の一月二十四日は「火よけ地蔵」の縁日で地蔵さんのまつりである地蔵さんのおまじりの善男善女で賑うことだらう。又江野にも古くからまつられていたが、今度地蔵も人達がかたくお堂を建てて木の香も高い中に地蔵さんを安置したそう。

捨てて、お互を信じ愛村の至誠と熱情で固く団結し組合員一丸となつて農協他二団体の振興に最大の努力を尽し二度と再び今回の如きことの発生を避けることを誓ひ併せて先輩各位並に組合員の皆様の絶大なる御協力を御願い申し上げます。

業勘定特別会計歳入歳出予算の追加更正
●本件実質的には八〇、二五六円の追加となり歳入歳出共予算現計八、二六五、六四二円で原案どおり可決確定した。

●けん銃の届出運動に協力して下さい
最近けん銃等を使用した兇悪犯罪が全国各地で続発し、私共の生活をおびやかしていることは御承知の通りであります。本県におきましても旧軍隊時代のものや海外などから持ち帰ったものなど相当あると見えます。そこで二月中を「けん銃なぞの発見拾得の届出勧奨運動月間」として県下をあげて防犯運動を行うことになりました。

議会報告

東郷村議会臨時議会は昭和三十四年一月三十日午前十時村会議事堂に招集せられ会期一日間で次の事件を審議原案どおり可決確定した。

△議案第一号 職員の内限の手続き及び効果に関する条例制定の件
●本件地方公務員法の規定により職員の意に反する降任、免職、及び休職の手続き及び効果に関する規定する条例の制定で原案どおり可決確定した。

心のともしび
寒さにふるえた者ほど、太陽の暖かさを感ずる。人生の悩みをくぐつた者ほど、生命の尊さを知る。自分の本音でない生活をすれば、その部分は死んでしまつてゐる。吾々は二つの耳を持ち、一枚の舌を持つてゐる。つまり、沢山聞いて少なくしゃべるのである。 デイオゲネス

△議案第三号 国民健康保険法の制定に伴う国民健康保険事業の応急措置に関する条例制定の件
●本件は新しく国民健康保険法が制定されたことによる同事業の応急措置に関する条例の制定で原案どおり可決確定した。

△議案第四号 昭和三十三年度東郷村歳入歳出予算の追加更正
●本件は耕地災害復旧事業中、中島頭首工外二地区の工事取止めによる更正が主なるもので他に若干の追加更正あり実質的には一一〇、五六三円の減額となり歳入歳出予算現計五五、一六四、五八三円で原案どおり可決確定した。

△議案第五号 昭和三十三年度東郷村国民健康保険事業の追加更正
●本件実質的には八〇、二五六円の追加となり歳入歳出共予算現計八、二六五、六四二円で原案どおり可決確定した。

防犯

第一線にある我等警察官は受持区内を警らし又は巡回連絡その他を通じて犯罪(事故)の予防と既発犯罪(違反)の検挙と各種の願届の処理に努めて良好な公衆関係の保持に努めて、これ等は警察の一方的活動のみをもつてははたす目的を達することはできないので常に皆様方の積極的な協力を要望している処であります。更に防犯効果の實をあげるために警察では皆さんの内での住家(昼夜間)を巡るような場合(昼夜間)とわず継続的に家を留守にする家庭又は老人子供などが留守居をされている家庭)に留守の期間(出発及び帰宅予定時間)必要があれば事故の際の連絡先及び連絡方法を電話その他の方法によつて受持区内の派出所に在所で連絡して貰つて、これによりその派出所、駐在所では警ら又は巡回連絡

山陰部長派出所
等の勤務を通じて留守宅に對する巡回を強化して、盗難、火災等の予防に當ること協力的により防犯の徹底を図りたいと思ひますので連絡方を御願ひします。

道路への撒水に注意
最近急に寒波がおそつて来ましたので道路沿いにお住いの方は、氷るような寒い朝晩は道路に撒水せぬよう自動車や自転車からスリッパして交通事故の原因ともなおります。

自治車の防犯登録

新に自転車を購入し又は売買交換された方や異動のあった方へ防犯登録又は異動手続きをすませない方は早目に防犯に協力方御願ひします。

犯罪は小さいものでもすべからず早目に届出ると共に現場はそのままにしておくことが大切であります。

▲人が生きて行く上に信仰は大事なことであるが信仰も純化された信仰でない結果をうむ場合が多い。火防地蔵も同じでこれを信仰しさえすれば火難はのがれると信じ切ること禁物である。どこまでも各個人が「火の用心」をすることが第一である。

吉野林業をみて

県議 小野 弘

「歌書よりも軍書に悲し吉野山」源平の戦、或は南朝北朝の争山に吉野山の悲劇は日本歴史に尽くる処を知らない。

然し私は今、歌書や軍書よりも吉野林業書に喜びと感激と喝仰を禁じ得ないものである。

秋田の杉、木曾の檜、吉野の杉、これ等は日本に於ける林業の花形であつて山に生さるもの、山に志すもの、山を治むるもの一度はこれ等の山を跋渉し新かな靈験に触るべきであると思ふ。

幸、昨年の拾月吉野林業を視る機会を得たので、その一端を記し大方の参考に資したいと思ふ。

吉野林業は奈良県吉野川上流地帯即ち川上村、東吉野村を中心とした地域を指すのであるが、古々発達した極めて集約的な密植、間伐と高伐期の施業と旧小川村に明治末期より始まつた丸太生産を目的とする杉の枝打ちを行う仕立作業が吉野林業の特徴である。

町当り一万本以上と云う極端な密植と植付後拾式、参年頃から五年毎に弱度の間伐を繰返し、長い間になると百七拾年を越える様な高伐期の施業があるが、これはそのかみ灘の銘酒とアイアツプし酒樽、樽丸の材料を生産する目的としたものである。

以上が吉野林業の概況であるが私達が視察した川上村はその吉野林業の中心地である。村の概況は人口一、六八二人、土地は実測面積によると田五反七畝、畑一〇三町三七畝、山林、二五、二七七町五反九畝で人口も面積も、わが東郷村と略同じ。昭和三十一年の決算が五千七百円の内、収入が五千七百円、支出が二千九百円、木材取引税の収入となつて、即ち森林資源による収入が全収入の三分の一を占めていると云ふことである。川の流域に沿つて奥に進めば進み程、山亦山と云う位造林がなされておられ、友人も遂に口がきけなく案内されて中腹の山に入つたのであるが丁度五反歩位の面積に百七拾年を経た杉が鬱蒼として立つていた。

一番大きな木で周囲が目通り八、九尺、反当五十本位、五反歩で二百本内外の山で、試に価格を聞いてみる。最高一本が七拾万円位と云ふ。一本平均四十万円にして反当二千円、五反歩で約一億円の山である。普通三、四十年の立木価格が石当り二千五百円位で本村あたりの倍の価格である。京阪神に近くて輸送に便利だと云ふことが、この林業を発達させ、又価格の

面にも有利な取引が行われる条件の一つになつてゐるのである。川上村の林業は発祥既に百五拾年を越し、その間に土倉庄三郎翁を始め古先輩達の功績により、今日全国無比の人工造林として天下に誇る美林の形態を整へてゐるのである。

時代の変遷はその木材需給の面に於て醸造器材の需要が少なくなると共に質よ量の声に應じて、吉野式集約林業に変革を与へ、宿題として経済的粗大成育、挿木苗養成、吉野杉苗の改良、地力減退の対策、等々尚解決すべき問題を多々残してゐる。

以上、視察の概要を記したものであるが本村の気候、地勢等より考察して思い半を過ぎるものがある。今日農業経営の危機が叫ばれてゐる時、この問題を解決する一つの方法として山林の間題を解決することが大具であると思ふ。今、此処に具体的名案を提示する暇はないが本村百年の大計を立てる上からも単に山の所有者だけでなく総ての人々が山林開発に関心を持つべきではなからうか。

山をつくるには金銭的な利害にとらわれず、真実に出る愛してこそ始め、山が出来るのである。それには冒頭に云つた人々、特に若い人達が天下の美林を視察することである。九州では飯田、日田、矢部等全国にも誇る観光と実利を兼ねた名山がある。

今年こそ生活の合理化を計りましょう

三十四年を迎えあらたな気持ちで、もう今年の家計が樹にされたことだと思ひます。

昔の人も「一年の計は元日にあり」と云うほど、新年度ごとに「今年こそ」と意気込んでおられます。

この様な計画は多かれ少なかれ、各家に樹てられ、又個人としても樹てなければなりません。家族全部の計画、いわゆる家としての計画と云ふものは、まともなことが必要です。

家計簿をつけている主婦の話は、医療費が他に比べて、非常に多いことに気が

青協だより

一月三十日に諸塚村役場で東白杵郡の産業振興の研究発表会が行われ本村からは五名の青年が参加したがそのうち「経営の安定を図る



東白杵青年産振大会で発表する 矢野勝子さんと久美子さん

養豚」を發表した寺迫の矢野克幸君と「わたしたち達のクラブ活動(食生活調査と改善の実践)」を發表した坪谷の矢野勝子さんと矢野久美子さんが東白杵郡を代表して県に出場することになった。

よい子の十力條

- 一、元気で生き生きとした子
- 一、すなおで明るい子
- 一、おちついて話をきく子
- 一、まわりのことをよく見、考える子
- 一、行儀のよい子
- 一、友だちとなかよく遊ぶ子
- 一、他人に迷惑をかけぬ子
- 一、自分でできることは自分でする子
- 一、よく考えてしつかり話のできる子
- 一、よく勉強する子

村奨学金貸与申込みについて

本村の奨学金は次の要領で貸与いたしますので希望の方は早目に申込み下さい。

- (1) 本村に本籍を有するもの
- (2) 公認の高等学校以上の学校に在籍する学生生徒
- (3) 学業成績優良で志操堅実なもの
- (4) 身体強健なもの
- (5) 学資に乏しいもの

詩

暗い道
越小六年 尾崎 正則



暗い道を
ぼくは一人で帰つた
じぶんの足で石がとぶ
そのたびに心臓が
ぞつとふる
もうすぐ墓所だ
—どうして—通ろうかと考
へた
考えているうちに墓所が来
た
ぼくは息をとめ
目をつむつて走り出した
走つては
枯木をふんで
ばりつと音がした
ぼくは、なおいそう速く走
つた
走るのを止めた
胸の鳴る音がドッキン
ドッキンと聞こえる
うしろをふかかえて見る
勇氣もなかつた
もう家の光の見える所まで
来ていた
ぼくは、灯だけを見ながら
帰つた
文集「くりの花」から

農協再建につとめよう

矢野 通

農協の現状内容に付きましては組合員の方々は充分御承知の事と御座いますので差支致しませんが、農協は私が申迄も無く村の唯一の経済団体であり私共になくしてはならない組合と思ひます。

尚又国と農民とのつながりも農協の強化目的の爲、総ての事業が農協を通じて行われて居りますので農協が倒産する事になりますと其

短歌

越中二年 日高 勝子
夕ぐれに帰りを急ぐわれと
友枯葉ふみつつ峠を登る
越中一年 河野 浩幸
朝つゆが草にポトリと一し
ずく朝日をうけて銀色にひ
かる
越中二年 山本 芳子

家庭欄

一、ばれいしよのいため焼材料(五人前)
ばれいしよ一〇コ、玉葱中一コ、人参一本、キヤベツ五枚、玉子一コ

作り方
1、ばれいしよと人参はゆでてうす切りとし玉ねぎとキヤベツはせん切にする。

2、フライ鍋に油を熱した中で、この野菜全部を炒め塩、胡椒で味をつける。

3、別に玉子を油を熱したフライパンに煎りおとして、目玉焼にする。

4、皿にいため野菜をたっぷり盛つた上にこの目玉焼をのせ、あればトマトケチャップ等をかけていたゞくソースでもよい。

二、ポテトコロッケ材料(五人前)
じゃがいも五コ、玉子一コ、小麦粉、パン粉、揚げ油、バター(マーガリン)

作り方
1、玉子は固ゆでにし、黄ばだけ細かにつぶす。

2、ばれいしよは丸のままゆでて、突きつぶした中へバターを大さじ二杯入れる。

3、その中に塩小さじ半で味をつけ、黄みを入れてまぜ合す。

4、子供が好むようにリンゴ形、木の葉形、コップ形など好みにまよめて、小麦粉、とき玉子、パン粉の順にころもをつけ熱した油であげる。



福小六年 川越 正広
秋の空晴れたる空たかー
羽
福小六年 松田 次美
福小六年 川越伊津子
冬の道さくさく歩く霜柱
福小六年 松葉 敏一
村の道つんとしているじぞうさん
文集「わかあゆ」から

成人式報告

本村第十一回成人式が新春の日射もやわらかい一月十五日に東郷小学校で開催された。成人へのよろこびを両頬にたたよせながら参集した百八十六名の若人達に心からの祝辞がおくられてその前途が祝福された。晴れわたつた大空には日の丸の旗がはためいていた。若人達の将来を象徴するかのよう。①成人証書授与②村長祝辞③祝賀会

